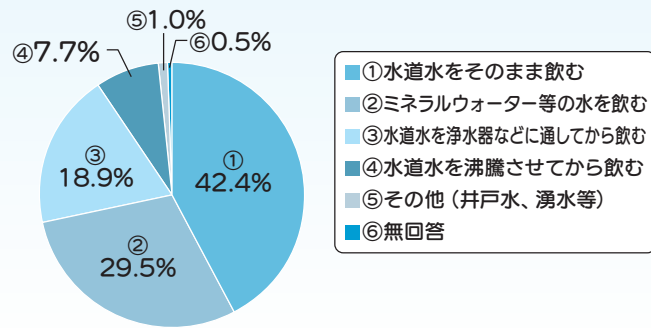


『水道事業アンケート』の結果から

水道局では、毎年8月から10月にかけてインターネットによる『水道事業アンケート』を実施しています。このアンケート調査は、皆さんの水道に関する意識、満足度、ニーズおよび水道使用等の実態を把握し、事業運営に役立てるため実施しているもので、昨年はアンケートを開始した以降、最多の403名の皆さんからご回答をいただきました。

アンケート結果は、水道局ホームページで詳しくお知らせしていますので、ご覧ください。

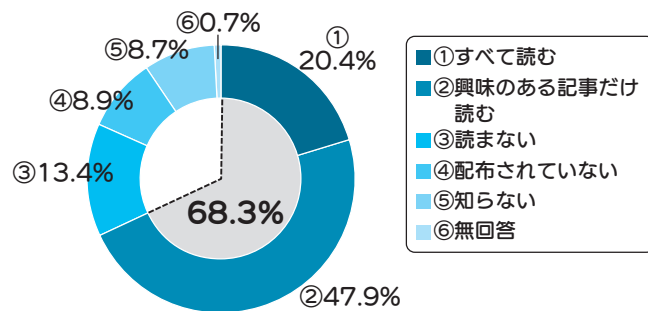
Q 主な飲料水は、次のうちどれですか。



『「水道水をそのまま飲む」が最多』

「水道水をそのまま飲む」が最も多くなっていますが、昨年度の調査の51%から減少しています。飲用の水道水離れが進んでいる傾向にあります。

Q 広報紙を読んでいますか？



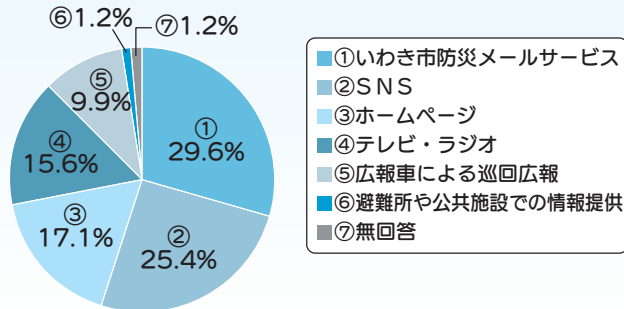
『約7割の方が、広報紙を読んでいる』

これからも多くの方に読んでもらえる広報紙作りを目指していきます。

一方で、「読まない」、「配布されていない」、また「web版でよい」などの声もあることから、広報紙のあり方や内容について見直しを図っていきます。

お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314

Q 水道局から、災害時に情報を得るのに有効なものは？



『「いわき市防災メール」、「SNS」が多い』

近年は、スマートフォン等の情報端末が身近にあり、手軽に情報を入手できるためであると考えられます。

災害時の広報やお客さまが求める情報の発信の充実に努めていきます。

アンケートのご意見で「水道料金が高い」とのご意見をいただきました。

いわきの水道の特徴

- ・14市町村が合併した市であるため、給水区域が広く、市街地が分散している
- ・大きな河川がなく、中小河川に水源を依存している
- ・起伏が多い地勢である

つまり…

水道施設が多く、水道管が長い
このため、修理や維持管理に多額の費用がかかります。

これからもコストの削減を図りながら、安全で良質な水道水を安定して供給できるように努めてまいります。

お客さまのご理解とご協力をお願いします。

新シリーズ 水道施設総合整備計画 ①

「いわき水みらいビジョン2031」において、特に重要な事業として水道施設総合整備計画に関連する9つの事業を「主要事業」に位置付けておりますが、その主要事業について、今回からシリーズで9つの事業内容などを、わかりやすくお伝えします。

今回は、「浄水場再整備事業」と「水道施設更新事業」についてご説明します。

【主要事業1】浄水場再整備事業

長期的な水需要の見通しや配水運用を踏まえ、水道施設を再編し水道システム全体の最適化、安定化及び強靱化を図るため「水道施設総合整備計画(水道施設再構築構想)」において示した最適な水道施設の将来像を実現するために重要となる浄水場の再整備を行います。

浄水場の再整備は、長期にわたるため、対象となる浄水場だけでなく、取水から配水の水道システム全体の運用やさまざまなリスクへの対応についても考慮する必要があります。

そのため、再整備期間中においては、通常時はもとより、災害発生時にも安定した給水が確保できるよう、導水管や送水管、水系幹線の更新などの関連する事業についても着実に実施していきます。

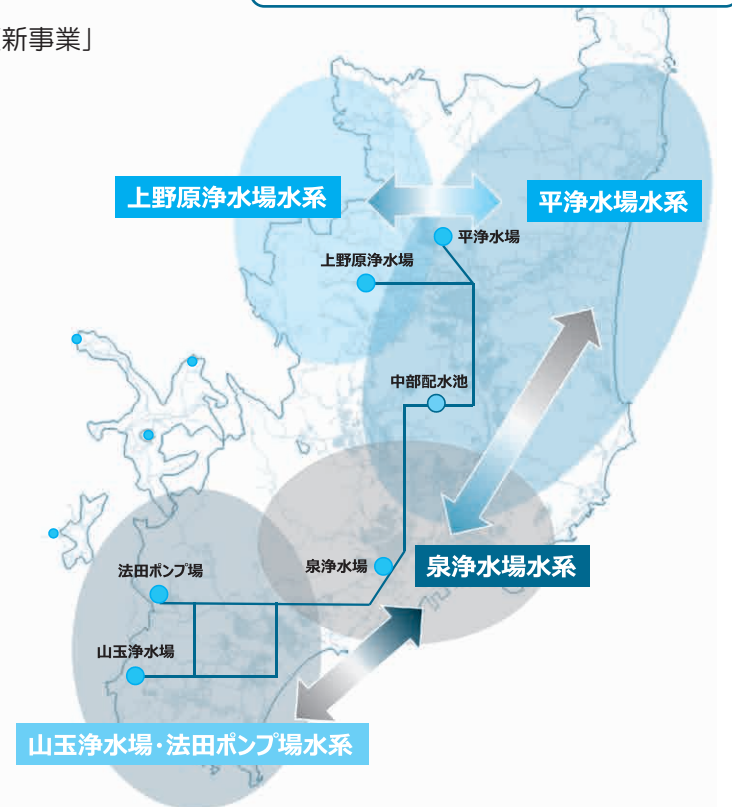
【主要事業2】水道施設更新事業

施設の老朽化に伴う設備の故障や誤作動等を要因に断水を伴う施設事故リスクは年々高まっています。

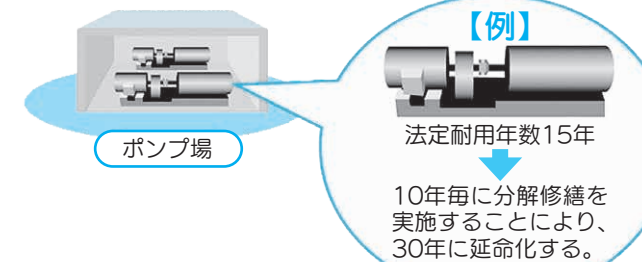
このため、適切な維持管理による長寿命化を図るとともに、施設の更新に当たっては、各種災害対策の考え方を踏まえ、耐災害性の強化を図ります。

水道施設の将来像

平浄水場、上野原浄水場、泉浄水場、山玉浄水場及び法田ポンプ場の5つの浄水場を存続させ、中央に位置する泉浄水場を最大限活用する相互融通体制を構築する。



長寿命化対策と施設更新イメージ



お問い合わせ 配水課 配水計画係

TEL 22-9318